

市議会9月定例会



コンポストたい肥を販売します

コンポストセンターは七月より本格稼働に入り、一日あたり十トンのコンポストたい肥を生産しています。

販売に先立ちその成分を分析したところ、窒素一・七九％、りん酸五・一二％、カリ二・七八％という結果が出ています。これは、現在JAあきた北で製造、販売している鶏ふんのみのだい肥「めぐみ」と類似した内容となっております。

畑作等への有機物補給用の元肥として最適なものができたと自負しています。

今月二十日からJAあきた北を通じて農業者や一般市民に、土の力と書いて「土力(どりよく)」という商品名で販売します。また、価格は一トン当たり四千五百円、十五キログラム袋詰めの場合は三百二十円という手頃な金額を考えています。

広域圏ごみ処理施設整備計画の状況

PFI法に基づくごみ処理施設の整備計画は、大館周辺広域市町

村圏組合が、落札者であるエコマネジ株式会社との契約締結に向けて契約事項の確定交渉を重ねています。現在大詰めを迎えています。

また、建設予定地周辺の花岡地区三町内会の方々には、説明会や先進類似施設の視察会を開催するなどして、本事業へのご理解とご協力をお願いしていますが、未だ同意を得るまでには至っておりません。事業スケジュールに遅れが生じています。

そのため、広域組合では、一日も早く地区の方々と同意が得られるよう、三町内にパンフレットを配布するとともに、戸別訪問をするなどして努力を重ねています。

小柄沢墓園の普通墓地を増設

かねてより市民の方々から増設要望が多かった小柄沢墓園の普通墓地は、百四十八区画について工事が完了しました。使用申し込みについては、広報等で周知する予定です。

また、規制墓地も残り少なくなってきたことから隣接地に増設



を計画し、現在、十二月初旬の完成を目指して工事を進めています。

平和への誓い

「花岡事件」から五十六年目にあたる本年、中国人殉難者慰霊式を六月三十日に挙行しました。約三百五十人の参列者とともに、犠牲者のごめい福をお祈りし、日中友好と恒久平和への誓いを新たにしました。

花岡事件については、昨年十一月に生存者等が賠償を求めていた訴訟の和解が成立し、それに基づいて基金が設立されています。

中国人殉難者慰霊式

その基金の慰霊関連事業として、中国から過去最多となる十二人の生存者と十九人のご遺族、中国紅十字会総会秘書長が今回の慰霊式に参列しました。また、和解の相手方である鹿島建設株式会社の代表者も参列するという意義深いものとなりました。

今後とも、この事件が風化されることのないよう慰霊式を継続していきたいと考えています。

そのほかの行政報告

- 大館市環境マネジメントシステムに関する定期・拡大審査について
- エコタウンフェア21 in おおだての開催について
- 大館大文字まつりについて
- 秋田県種苗交換会について

- 大館樹海ドームの入館者百万人達成について
- 成人祭について
- 白沢御膳水の回復について
- 市立総合病院増改築事業について
- 公共事業の進行状況について